

科目名		地域・公衆衛生看護学特講Ⅰ		分野・必選別・単位数		専門科目 (地域・公衆衛生看護学)		選択必修		2単位					
担当教員		◎教授 山崎恭子													
課程		博士前期		配当年次		1年		配当学期		前期		授業方法		講義	
授業の概要		利用者・家族に対して包括的な視点から問題解決に向けた看護実践を展開するため、社会資源の活用や医療・保健・看護・福祉の連携のあり方、多職種の役割および効果的な連携について考察する。													
授業の到達目標		①地域における社会資源の活用方法について実例を用いてプレゼンテーションができる。 ②地域における専門職の役割と連携について実例を用いてプレゼンテーションができる。 ③利用者・家族に対する包括的なマネジメントのあり方について実例を用いてプレゼンテーションができる。 ④地域のサービス評価方法について実例を用いてプレゼンテーションができる。													
授業計画	回数	担当者						行動目標							
	1	山崎 恭子		教 授		科目概説 本科目の概要、授業目標を説明できる。									
	2	山崎 恭子		教 授		地域における社会資源を説明できる。									
	3	山崎 恭子		教 授		地域における社会資源の活用について説明できる。									
	4	山崎 恭子		教 授		利用者・家族に対して効果的な社会資源の活用について説明できる。									
	5	山崎 恭子		教 授		地域における専門職の役割と連携について説明できる。									
	6	山崎 恭子		教 授		利用者・家族に対して、包括的に問題解決をはかる専門職のあり方について説明できる。									
	7	山崎 恭子		教 授		利用者・家族に対して、包括的に問題解決をはかる専門職のあり方について考察し説明できる。									
	8	山崎 恭子		教 授		包括的マネジメントの理解を説明できる。									
	9	山崎 恭子		教 授		利用者・家族に対して、QOL向上の視点から包括的なマネジメントのあり方について説明できる。									
	10	山崎 恭子		教 授		利用者・家族に対して、QOL向上の視点から包括的なマネジメントのあり方について考察し説明できる。									
	11	山崎 恭子		教 授		地域におけるサービスの評価方法を説明できる。									
	12	山崎 恭子		教 授		地域におけるサービスの評価方法について考察し説明できる。									
	13	山崎 恭子		教 授		地域全体を捉えたサービスの評価方法を説明できる。									
	14	山崎 恭子		教 授		地域全体を捉えたサービスの評価方法について考察し説明できる。									
	15	山崎 恭子		教 授		講義の振り返りと習熟度確認									
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		【事前学修】		指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。											
		【事後学修】		授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。											
		【必要時間】		当該期間に30時間以上の予復習が必要。											
教科書		講義の中で適宜紹介する。													
参考書		講義の中で適宜紹介する。													
成績評価の方法および基準		口頭発表50%、レポート50%で評価する。 欠席1回ごとに5点減点する。													
その他履修上の注意事項		試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。													